

板会
与匠
後物
越打
刃物

日本橋で第3回開催

「鍛冶職人」刃物の世界展

2月6日から8日までの3日間

長岡市の越後与板打刃物
匠会(久住誠一会長)は2
月6日から8日までの3日
間、展示会「鍛冶職人 打
刃物の世界」を東京・中央

区日本橋室町のだいし東京
ビル1階の日本橋・プリッ
シにいがたで開催する。
同会場では3回目の開
催。昨年の2回目は、多く

の来場者が訪れ、盛況だっ
た。
同展では、鍛冶職人が丹
精込めて製作した製品展
示・販売、映像による打刃
物製造工程の紹介を行う。
また、特別イベントとし
て、①当日持参した包丁の
研ぎの実演実施(1本50
0円)②「のみ」を使って
キツッキ体験(無料)③
「かんな」の薄削り体験
(無料)④経節削り体験

(無料)——を行う。
越後与板打刃物は、戦国
時代から400年余の伝統
を今に伝える伝統工芸品。
現在は大工道具を主体に製
造されており、その高い技
術は日本国内はもとより海
外でも認められ、特にドイ
ツのバイオリン作りのマイ
スターからは高い評価を得
ている。
また、日本で唯一の鉦
(ちような)の産地として
も知られている。



④多くの来場者で賑わった昨年の「鍛冶職人」刃物の世界展の会場